



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

## 令和3年度 第1回自然再生活動の参加者募集について

7月17日（土）に「第1回自然再生活動 水を育むブナ林再生教室」を開催します。お申込みの前に以下の項目について確認を行ってください。

①以下の事項に該当する場合は参加を見合わせてください。

- ・体調がよくない
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる者がいる
- ・過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は該当在住者との濃厚接触がある場合

②募集期間からイベント当日までに、再度、感染拡大の傾向が発生した場合は、イベントを中止することがあります。

③イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに当センターまでご連絡ください。

開催日：令和3年7月17日（土）

開催場所：青森県中津軽郡西目屋村

鬼川辺国有林内 外

募集人員：10名（応募多数の場合は抽選）

参加費：400円

（傷害保険料・駐車場料金として）

イベント内容：ブナ林再生活動としての広葉樹の

採取から植栽までと森林散策

その他：雨具・昼食・マスクを持参。森林内

で作業が出来る服装。

※天候等により内容を変更・中止する場合があります。

募集期間：6月28日（月）～7月9日（金）まで

平日8時30分～17時15分まで（土日祝日除く）

応募方法：電話・FAX・ハガキにてお申し込みください。

お申込み前にホームページ・チラシ等で詳細をご確認ください。

【新型コロナウイルス感染症の感染防止のため募集定員を例年より減らしております。】

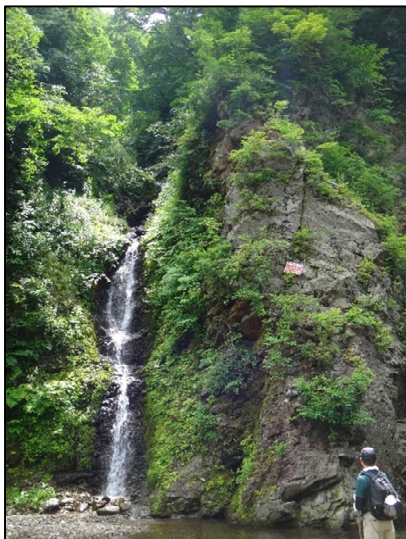


苗木栽植の様子

## 令和3年度

### 第1回白神山地世界遺産地域巡視員会議（青森県側）について

今年度の白神山地世界遺産及び周辺地域への入山シーズンを迎えるにあたり、白神山地世界自然遺産に携わる白神山地連絡会議関係行政機関や各機関委嘱巡視員が一堂に会する白神山地世界遺産地域巡視員会議を6月8日火曜日に西目屋村中央公民館にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防対策として、昨年につき書面開催となりました。



巡視状況

巡視員及び関係行政機関には、白神山地周辺における各機関の事業計画説明、巡視員の活動、入山マナー向上の協力依頼、合同パトロールの実施計画、ニホンジカ等の情報収集について説明資料を送付し、質問・意見及び情報提供をお願いしたところです。

冬季閉鎖で閉ざされていた白神ラインも5月28日に開通し、入山を待ち望んでいた多くの人達が白神山地を訪れると思います。この地を訪れた際、巡視活動中の巡視員の方と出会う機会があると思いますが、その時は、巡視員による啓発活動を御理解のうえ入山マナーを守り、白神山地の豊かな自然を堪能していただければと願っております。（田中）

## 中・大型哺乳類調査を実施しています



カメラ設置箇所ごとの状況報告



哺乳類が通りそうなルートを狙う

平成26年度より実施している白神山地周辺（青森県側）における中・大型哺乳類調査については、今年度は4月2日～4月28日の期間において、センサーカメラ32台を設置し、調査を実施しています。

令和2年度からは請負契約にもとづき、調査専門業者によるセンサーカメラメンテナンス及び撮影画像の解析等を行っており、今年度も第1回目のセンサーカメラメンテナンス作業を6月13～14日の2日間で行いました。

当センター職員は現場監督として現地にて指導を行っています。

請負業者には、①車両運行時及び現場作業における安全確保、②センサーカメラの確実な設定と操作ミスの防止等を念頭に現場にて立ち会い、哺乳類等が通過した際、確実に撮影できるようカメラの向きや傾きを調整し、今後データ収集していきます。



現場での作業期間は、11月下旬までであり、その間、月1回のカメラメンテナンスを行います。また、ニホンジカ・イノシシの撮影が確認できた場合、速やかに報告することとなっております。来年2月には報告書が取りまとめられる予定です。（小倉）

## 五所川原市十三クリーン作戦に参加しました

令和3年6月16日（水）、津軽森林管理署金木支署管内の「十三の砂山公園」で実施されたクリーン作戦に参加しました。

晴天の下（ヤマセの影響で東風強し）70名の参加で開会式が行われ、主催者である金木支署長の挨拶、続いて総括森林整備官より作業内容・作業中の安全確保について説明がされました。

開会式後、参加者が一斉に散らばり、配布されたデレキ（火鋏）とゴミ袋を使い回収作業の開始。しかし、風が強いため油断していると拾ったゴミやゴミ袋が飛ばされる始末。序盤こそ苦戦していましたが徐々に作業にも慣れ、参加者全員黙々とゴミ回収に取り組んでいました。



作業開始直後の様子



浜屋顔の中、黙々とゴミ回収

ゴミの内訳としては、ペットボトル類が多く、探すまでもなく次々回収できます。続いて苗ポット（スイカ・メロン用？）、洗剤容器（国際色豊か）とプラスチック類のゴミが多く、海洋環境について少し考えさせられました。毎年のことながら、漂着ゴミはもちろん、現地におけるゴミの投棄が無くなってくればと感じた次第です。

一時間半ほど作業を実施した結果、回収したゴミの量は、収集車1台分あったとのことでした。



回収したゴミを軽トラからゴミ収集車へ



作業終了後の記念写真

今後もクリーン作戦に、津軽白神森林生態系保全センターでは積極的にして参加していきたくて考えています。(田中)

## コラム：白神山地に住むへび

皆さんは森林散策や登山中にへびを見たことがあるでしょうか。また、どのへびが毒を持っているのか分からないという方が多いのではないのでしょうか。今回は、白神山地に住む代表的なへびを紹介するとともに、毒へびについても触れていこうと思います。



ヤマカガシ

近寄らないで！！

◇白神山地に生息するへび

- ・シマへび
  - ・ヤマカガシ
  - ・ニホンマムシ
  - ・アオダイショウ
  - ・ジムグリ
- など...

青森県に生息するへびで毒を持っているのは、「ヤマカガシ」と「ニホンマムシ」の2種類だけです。それ以外のへびは毒を持っていないですが、油断はできません。刺激すると攻撃的になり噛みついてきて出血することもあるので、見つけたらそっとしておくようにしましょう。

(木村)

## 津軽白神森林生態系保全センター活動展（写真展）は開催中です

白神山地ビジターセンターにて開催中の「津軽白神森林生態系保全センター活動展」は6月30日（水）まで開催しております。近くを訪れた際は、ぜひお立ち寄りください。

今回、展示している写真はこれまでに展示したことがないものを中心に構成されています。

また、7月以降は、保全センターでも順次展示していきますので、ぜひお立ち寄りください。



活動展の様子

開催期間：令和3年6月30日（水）まで 午前8時30分～午後5時まで

開催場所：白神山地ビジターセンター 1階エントランス

(青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田 61-1)

【編集後記】5月28日発行の177号の活動展の記事で開催場所を「2階ホワイエ」と明記しておりましたが、正しくは「1階エントランス」でした。訂正してお詫びを申し上げます。(下山)